

企業における意欲という源泉

令和6年3月1日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

意欲は企業の源泉である。それは正しい企業構築がそれを与えるのである。

これら就業環境、正しい評価、報酬の正当性、強制でない、自主的な労働、企業経営の健全性などが、これらを与えるのである。

企業倫理性は正しい労働意欲の育成を与えるのである。これらは時代性や先端性ととも、企業が自己を求めるとき、正しい労働意欲がこれらを基盤するのである。

また経営者の卓越したビジョンや理解は、優れた現実を与えるものであり、優秀な社員はこれらにおいて自己を与えられる。

これらは正しい企業構築という概念において、社員への公正さなどは、その意欲を奪うものでないのである。

これら意欲が企業と未来を創造するのである。そのため、企業風土における企業判断は正しいのである。

これらは開かれた自己環境は、社員の創造性ととも、新しい時代における企業要求への正しい企業環境を与えるものである。

意欲の喪失は必ず企業の責任であり、正しい経営判断における企業構築の必要性を伝えるものである。

これらは、企業が現状の変化への自己基盤として、自己の企業風土を問われることは存在するのである。

これらは変化へ自己が率先し自己を行う必要性であり、これらは意欲において実現できるのである。